


ゆい
結 通 信


世代を超えたつながりを！

牧野 直子


 **箕面のまちが変わる**

「結みのお」の事務所の近くにある大阪府住宅供給公社の「箕面団地」の解体工事が始まりました。60年前に建設された5階建ての団地が老朽化したために建て替えることになったのです。箕面市内では空き家がどんどん増えています。一方で北急延伸工事が進む中、萱野中央を中心としたまちづくりがすすめられつつあります。しかし問題はハードではなくソフトです。

私が千里ニュータウンから箕面に引っ越してきたのは40年前。子育て真最中のときでした。「青空共同保育げんき会」や「箕面おやこ劇場」、「くすのき文庫」などを通して箕面で多くの子育て仲間に出会いました。その土台があるからこそ、今の「結みのお」があると思っています。

 **初めてのファミリーコンサートを終えて**

今年11月3日(文化の日)に「第1回ファミリーコンサート」を実施したところ、中には、我が子のクラスメイトだった子たちがパパやママになり、子ども連れで参加してくれました。たった1本の電話がそのきっかけを作ってくれたのです。これまで「結コンサート」を毎年続けてきましたが、子育て中のお母さんからの問い合わせに「子どもたちも参加できるコンサートをしよう！」ということになったのは私たちのこれまでの経験があったからです。生の舞台を親子共々で楽しむという経験が私たちを育ててくれました。

 **私たちにできることは？**


私たちは「大量生産、大量消費」の時代に成長し、大人になりました。今、私たちの周りには多くのモノが溢れています

一方で目を世界に向けると、アフガニスタンやスーダンのように食べるものもなく、餓死している子どもたちがいます。ウクライナなど戦時下で苦

しむ子どもたちの映像をみると心が痛みます。また国内でも経済格差が拡がり、その日暮らしの人が増えています。基本的人権を尊重し、最低限度の生活を保障するために生活保護制度があるはずですが、


一方では、エネルギー政策として原発の延長や集団的自衛権を想定し「敵基地攻撃能力」という言葉に表れるような新たな動きが出てきています。そして防衛予算を増やそうとしています。今こそ、国民の生活を守るために税金を防衛費や原発再開より社会保障にまわさないといけないのではないのでしょうか？

日本国憲法ができて今年で76年です。今、私たちができることは何でしょうか？ 私はまず、自分の足元からできることをやりたいと思います。


 **あらたな活動始まる**

このたび、「みんな食堂みのお」や「きららの森のいえ」などあらたな活動を模索している団体が「結みのお」の会員となりました。そういう活動をつなぎ、人の輪を拡げていくことが「結みのお」のこれからの活動ではないかと思っています。

ともに新しい経験を重ね、お互いに心を開いて話し合える、相談できる仲間が増えることを願っています。その中から困難に向き合い知恵を出し合う関係を育てていきたいと思っています。



2023年度総会のお知らせ



コロナやインフルエンザの流行が懸念されますので、今年の総会も書面総会とさせていただきます。

2月10日頃、議案書を送付いたしますので、お目通しの上2月20日までに同封の葉書を返信してください。

尚、その葉書を元に役員と会計監査が2月22日(水)午後1時半から箕面市中央生涯学習センター講座室にて審議し、総会とさせていただきます。